

和歌山県新宮市

新宮市高田区における観光モデルコースの造成



【地域の基礎データ】

人 口：27,796 人（令和 3 年 2 月 1 日現在）

高齢化率：36.9%（令和 2 年 1 月 1 日現在）

産 業：製材業、製紙業、漁業、林業 など

【活動の基本情報】

参加学生数：12 名（1 回生：4 名、2 回生：6 名、3 回生：2 名）

活動期間：令和 2 年 6 月～

担当教員：伊藤央二

1. 活動実施の経緯

新宮市は和歌山県南東部に位置し、熊野三山の一つ「熊野速玉大社」が鎮座するまちとして栄えてきた。高田区は新宮市中心部より西側に位置し、かつては高田村として発展してきた地域である。この高田区について、地域の魅力ある観光資源が存在しているにも関わらず、若年層を中心に十分な誘客ができていない状況にあり、これらの地域における誘客は新宮市の観光において重要となる。そこで、地元の活力を取り戻すための活動を行っていく高田区（委員会）と連携し、実際に現地での交流や地域の観光資源の体験を通して、様々な観光事情や魅力を知ってもらうこと、それについて広く発信できる力を身につけてもらうことを目的とし、学生主体での新鮮な観光モデルコースの造成を行うこととした。

2. 活動の内容

新宮市役所企画政策部商工観光課の担当者と Teams を使い、ミーティングやプレゼンテーションを実施した。本来であれば、夏休み期間中に現地研修を行い、観光モデルコースを開発する予定であったが、新型コロナウイルス感染症により、現地研修は中止となり、全ての活動をオンラインで行うことになった。現地研修は中止となったが、高田中学校の生徒および教員とのオンライン交流会を実施し、高田地区の情報収集をするとともに、地域の方々と交流することができた。

3. 活動を通じて

新型コロナウイルス感染症の影響により、予定通りの活動はできなかったが、オンラインを用いて新宮市職員および高田区の方々と交流できたことは非常に有意義であった。

4. 成果物（ポスター）

和歌山大学 × 新宮市

2020年度 新宮市高田区LIP

～地域振興活動に向けた関係づくり～

活動メンバー：1回生4名、2回生6名、3回生2名

【新宮市高田区の概要・現状】

新宮市とは和歌山県南部・紀南地方にある市の一つ。世界遺産にも登録されている「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成資産の一つである「熊野速玉大社」をはじめとして、数々の歴史的名所を擁する市です。

高田区は新宮市の山間にある集落であり、こちらも温泉施設や「日本の滝百選」に選定された滝など魅力的な観光資源を有しています。しかし、（特に家族連れ層や若年層について）十分な誘客ができていない状況となっています。新宮市の定めている観光コースにおいても、高田区が入っているものは存在しません。

【新宮市LIPの発足と当初の目標】

現状の問題点を是正するため、新宮市からのアクションにより和歌山大学との連携が決定しました。目的は、大学生が観光振興活動に参加することで、若年層に向けての有効な誘客活動につなげること。更に、地域住民と大学生が活発に交流する過程で、お互いに地域と観光についての認識を高めあうことも副次的な効果として期待されていました。当初の具体的な目標としては「新しい新宮市観光モデルコースの造成」を掲げ、2020年度よりLIPとしての活動が発足しました。

↓ しかし、コロナ禍の影響を受け… ↓

【活動方針・形式の変更】

上記のような活動方針を掲げて発足した新宮LIPでしたが、新型コロナウイルスの蔓延状況に収束の兆候が見えなかったことから大幅な活動縮小を余儀なくされます。当初は現地での研修をふまえた観光モデルコースを作成する予定となっていました。コロナ禍によるリスクが大きいため現地での活動は困難となりました。オンラインで可能な活動についてLIPメンバーと市役所職員の方で各々検討を重ねた結果、今年度は高田区にある中学校の生徒との交流会をオンラインで開催し、次年度以降の本格的な活動に向けた「関係づくり」を重視して活動を行うことになりました。

【新宮市LIP×高田中学校 オンライン交流会】

新宮市立高田中学校とのオンライン交流会を2021年1月に行いました。当日は大学生と中学生がお互いに自己紹介した上で、大学生は大学生生活や観光学部について、中学生は高田区や自分たちの事についてプレゼンテーションを行いました。質疑応答・フリートークの時間には、「バスの料金が高本数も少ない」など、現地住民目線での問題点を知ることができました。双方が見識を深めることのできる貴重な体験となりました。



↑ 当日の高田中学校生徒の様子
高田中学校は生徒7名、教員6名の小さな学校でした。



↑ 交流会モニター画面の様子
当日はZoomを用い、中学校側が2台のPCを接続して交流しました。

【新宮市LIP 参加学生の声】

・コロナウイルスの影響から新しい活動案を模索したが、その案の多くを実現できなかったことは反省点と考える。一方で、オンラインとはいえ高田中学校の方々との直接の交流ができたことは非常に良かった。次年度からはもっと自発的、また積極的に課題解決に向けて取り組みたい。(1回生 向井)

・オンライン会議をあまり多く開かず、また特異な状況下であることから現地活動も行わなかったことは残念。交流会も遂行に改善の余地はあるものの、自分の中学校生活との違いを感じることができてとても新鮮だった。高田中学校の方々とうちのために新宮や高田に話りたいと思った。(1回生 伊藤)

・高田区は大自然が残っていて素晴らしい地区であることを理解した。熊野川や山々の風景は素晴らしいのだがまだまだ観光化されておらず、これらをもっと観光化するかが当地の今後の課題であると考え、次年度は更に多くの地元住民とも交流し意見交換をしたい。(2回生 重本)